

公益財団法人茨城県開発公社 令和4年度事業報告

令和4年度の経営状況については、新型コロナウイルス感染症の長期化や燃料価格・食材費高騰の影響により厳しい状況が続いているが、各事業において社会情勢や事業環境の変化にも的確に対応しながら、安定的かつ継続的な経営に努めた。

事業全体の当期一般正味財産増減額は、土地開発事業において土地の引渡しを行ったことや、宿泊施設事業において「いば旅あんしん割（全国旅行支援）」効果により利用者数が回復したこと、また、ビル管理事業において経費節減に努めたこと等から、72百万円余の増加となった。

【正味財産増減表抜粋】

（単位：千円）

		収益計	費用計	他会計振替	当期一般 正味財産増減額	正味財産 期末残高
R4決算		11,044,565	10,972,339	-	72,226	10,372,044
公益目的事業	土地開発事業	7,241,314	7,066,731	-	174,583	5,906,594
	茨城空港旅客ターミナルビル事業	300,653	368,413	54,443	△ 13,317	△ 55,024
	園地整備・管理事業	28,838	138,802	-	△ 109,964	65,635
	水道事業	1,331,398	1,331,398	-	△ 0	124,193
収益事業	宿泊施設・日帰り温泉施設事業	1,733,349	1,670,687	△ 25,007	37,655	558,375
	ビル管理事業	408,034	318,412	△ 29,436	60,186	3,851,874
	立地促進事業	3	35,566	-	△ 35,563	105,736
法人会計		1,975	43,328	-	△ 41,353	△ 185,338
内部取引等消去		△ 1,000	△ 1,000	-	-	-
R3決算		17,028,922	15,978,547	-	1,050,376	10,311,245
R2決算		5,585,717	5,737,230	-	△ 151,513	9,271,474

- ・収益計＝経常収入＋経常外収入。
 - ・費用計＝経常費用＋経常外費用＋法人税・住民税等。
 - ・他会計振替＝収益事業の利益のうち概ね1/2を公益目的事業に振り替えている。
 - ・数値は、表示単位未満の数値を四捨五入したもので、計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ）
- ※正味財産期末残高については、指定正味財産期末残高を含む。

○事業別実績概要

【公益目的事業】

1 土地開発事業

【プロパー事業 処分等実績】

- ・東筑波新治工業団地において、企業との既存リース契約期間を前倒しして終了し、1.1haを分譲した。
- ・南中郷工業団地において、企業との既存リース契約期間を前倒しして終了し、1.6haを分譲した。
- ・南中郷工業団地及び東筑波新治工業団地にて、リース売上げを計上した。
- ・南中郷工業団地及び茨城工業団地にて割賦（ファイナンスリース含む）売上げを計上した。
- ・稲敷工業団地において、令和5年12月の引き渡しに向け16.4haの造成工事等を進めた。

契約締結日	企業名等	面積	団地名	処分形態
R4. 11. 18	三協ラボサービス(株)	1.1ha	東筑波新治	既存リース区画を分譲
R4. 11. 30	(株)ルミカ	1.6ha	南中郷	既存リース区画を分譲
令和4年度計		2.7ha		

※プロパー団地については、全面積立地済み。稲敷1区画（3.9ha）については未取得。

【公共事業 工事等実績】

- ・茨城県所有9団地等について、用地取得、造成工事の施行及び企業誘致に関する協力支援までの一連の業務を受託している。茨城中央工業団地（Ⅰ期・Ⅱ期・笠間地区）において造成工事、道路改良舗装工事及び雨水・上水整備工事を実施したほか、各公共工業団地において除草等の管理を実施した。
- ・「つくばみらい福岡地区（圏央道インターパークつくばみらい）」において、茨城県企業局から土地造成業務を受託し、用地買収業務をつくばみらい市に再委託して行ったほか、造成及び調整池工事等を進めた。
- ・「坂東山地区（フロンティアパーク坂東）」において、茨城県企業局から土地造成業務を受託し、用地買収業務を坂東市に再委託して行っているほか、開発に係る調査・設計を進めた。
- ・産業用地開発に係る可能性調査業務を茨城県から受託し、事業化調整を進める際の参考資料作成等を行った。

【正味財産増減表】

（単位：ha・千円）

	R4決算	R3決算	前年比
団地処分面積	2.7	3.9	△ 1.2
経常収益	7,241,314	8,565,604	△ 1,324,290
経常費用	7,066,731	8,126,934	△ 1,060,203
経常増減額 a	174,583	438,670	△ 264,087
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	-	-	-
増減額計 a + b	174,583	438,670	△ 264,087
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	174,583	438,670	△ 264,087
一般正味財産期末残高	5,812,567	5,637,985	174,583
指定正味財産期末残高	94,027	95,814	△ 1,787
正味財産期末残高	5,906,594	5,733,799	172,795

【プロパー事業 団地簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和4年度 増減額 (減損・造成等)	令和4年度 簿価減少分 (原価)	令和4年度 売却高 上段は売却益	其他要因 による増減	令和4年度末 簿価残高
南中郷	-	-	16,500㎡	130,964千円	16,500㎡	-
	7,976千円	-	48,240千円	179,204千円	40,264千円	-
茨城	55,687㎡	-	-	23,039千円	-	55,687㎡
	629,461千円	-	27,588千円	※1 50,628千円	-	601,873千円
東筑波新治	-	-	10,909㎡	2,182千円	10,909㎡	-
	-	-	303,269千円	305,451千円	303,269千円	-
稲敷	250,632㎡	-	-	-	-	250,632㎡
	1,925,885千円	1,135,634千円	-	-	-	3,061,519千円
銚田西部	689㎡	-	-	-	-	689㎡ ※2
	13,035千円	-	-	-	-	13,035千円
緒川	3,013㎡	-	-	-	-	3,013㎡ ※2
	2,139千円	-	-	-	-	2,139千円
砂沼サンビーチ 跡地整備	-	-	-	-	-	- ※3
	1,073千円	1,523千円	-	-	-	2,596千円
合 計	310,021㎡	-	27,409㎡	156,186千円	27,409㎡	310,021㎡
	2,579,568千円	1,137,157千円	379,097千円	535,282千円	343,533千円	3,681,162千円

※1 茨城工業団地の事業用定期借地契約の売上については、ファイナンスリースとして当期受取賃貸料ではなく土地売却収益に計上している。(簿価残は年度末残高に含まれている。)

※2 仮登記を本登記にできない分について手続き中であり、完了後に県に売却予定。

※3 人件費等の配賦額についてのみ計上しており、既存施設の撤去・造成に必要な調査費用等は法人会計の建設仮勘定に計上している。

2 茨城空港旅客ターミナルビル事業

- ・新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和等に伴い、搭乗者数は約60万人（前年対比約32万人増）、搭乗者と見学者を合わせた来場者数は、約117万人（前年対比約50万人増）となった。
- ・国内線については、7月1日から「スカイマーク」の定期便が全便運航を再開したほか、「フジドリームエアラインズ」等によるチャーター便や遊覧飛行が27便運航した。
- ・国際線については、令和3年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響による全便運休が継続していたが、3月25日から「ジンエアー」によるソウルチャーター便が運航されたほか、3月26日から「タイガーエア台湾」による台北定期便の運航が再開した。
- ・国際線再開時に安心して空港を利用いただけるよう、国の補助金事業である「地方空港受入環境整備事業補助金（空港受入環境高度化支援ウィズコロナ）」を活用し、国際線の出発客向けにサーモカメラを導入した。
- ・空き室となっていたテナントを10月15日から「茨城空港ガチャコーナー（カプセルトイスペース）」として運用開始し、収入の確保及び利用者の満足度向上に努めた。一方で、受検者数の減少により、「木下グループ新型コロナ検査センター茨城空港店」が3月24日付けで退去となった。
- ・長期修繕計画（R3年度～R12年度）に基づき、ベルトコンベア修理工事、空調中央監視装置システム更新工事及び入退室監視システム更新工事などを実施した。
- ・更なる集客促進を図るため、県や小美玉市との共催によりイベント等を開催した。なお開催にあたっては、入場者の手指の消毒やマスクの着用など感染防止対策を実施した。
- ・新しい生活様式を実践するため、サーモカメラによる入館時検温や、消毒液及びアクリルパーテーションの設置等を継続した。

【正味財産増減表】

(単位：人・千円)

	R4決算	R3決算	前年比
来場者数	※1 1,173,700	※1 673,400	500,300
経常収益	300,653	257,552	43,102
経常費用	366,796	352,298	14,498
経常増減額 a	△ 66,143	△ 94,747	28,604
経常外収益	-	-	-
経常外費用	※2 1,617	-	1,617
経常外増減額 b	△ 1,617	-	△ 1,617
増減額計 a + b	△ 67,760	△ 94,747	26,987
他会計振替	54,443	-	54,443
当期一般正味財産増減額	△ 13,317	△ 94,747	81,430
一般正味財産期末残高	△ 110,677	△ 97,361	△ 13,317
指定正味財産期末残高	55,653	63,025	△ 7,372
正味財産期末残高	△ 55,024	△ 34,335	△ 20,689

※1 来場者数＝見学者数＋搭乗者数。

※2 固定資産除却損。

3 園地整備・管理事業

【涸沼園地】

- ・スポーツを通じた利用者の心身の健全な発達に寄与するため、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底した上で、3年ぶりに屋外プール営業を再開した。近隣市町の小学生・幼児を対象に無料プール利用券を配布し、水泳教室の場を提供することにより健康の増進に寄与した。

（営業期間：7月23日～8月28日・営業日数27日、入場者数21,815人）

- ・利用者の健康の増進と体力増強に資するため「グラウンド・ゴルフ大会」及び「スポーツウエルネス吹矢大会」を複数回開催した。（グラウンド・ゴルフ大会参加者約2,000名、吹矢参加者152名）
- ・自然保護意識の醸成及び青少年の健全な育成を目的とし「涸沼ビオトーププロジェクト（ミニ涸沼自然観察会・水辺の自然観察会）」や「野鳥観察会」を開催し、利用者の教化に資する活動を行った。

（参加者170組）

【伊師浜国民休養地】

- ・スポーツを通じた利用者の心身の健全な発達に寄与するため「ノルディック・ウォーキング体験会」及び「グラウンド・ゴルフ大会」を開催し、健康の増進に寄与した。（参加者174名）
- ・青少年の健全な育成及び自然環境の保護及び整備のため「ホテル観賞会」及び「自然観察会」を開催し、学びの機会を設けた。（参加者84名）
- ・11月に開催予定であった「鶴の岬秋まつり」及び2月に開催予定であった「野鳥観察会」は、天候不順のため中止となった。
- ・休養地内の自然環境維持のため、枯松伐採を行った。（47本）

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R4決算	R3決算	前年比
グラウンド・ゴルフ人数	※1 12,292	※1 11,013	1,279
プール入場者数	21,815	0	21,815
パターゴルフ人数	1,352	1,238	114
スポーツプラザ人数	3,057	1,223	1,834
多目的広場人数	3,957	2,692	1,265
経常収益	28,838	17,059	11,779
経常費用	138,802	117,110	21,692
経常増減額 a	△ 109,964	△ 100,051	△ 9,913
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	※2 390	△ 390
経常外増減額 b	-	△ 390	390
増減額計 a + b	△ 109,964	△ 100,441	△ 9,523
他会計振替	-	414,742	△ 414,742
当期一般正味財産増減額	△ 109,964	314,301	△ 424,265
一般正味財産期末残高	62,490	172,455	△ 109,964
指定正味財産期末残高	3,144	3,968	△ 824
正味財産期末残高	65,635	176,423	△ 110,788

※1 利用人数については涸沼園地のみ集計。

※2 固定資産除却損。

4 水道事業

【浄水場の運転管理等業務】

- ・ 県企業局所管の10浄水場における運転管理業務を実施した。
- ・ 年1回、管路に設置された弁類の点検等を実施したほか、毎月2回、管路の全ルート巡視を実施した。
- ・ 県企業局水質管理センター及び2浄水場にて水質管理・検査業務を実施した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、新しい生活様式を実践し、オンライン会議の開催、勤務体制変更を11月中旬まで実施した。また、マスクや消毒用品の確保等を行うことにより、社内での感染拡大防止に努めた。
- ・ 霞ヶ浦浄水場における「新しい浄水処理技術の実験」に参加し、実験データの取り纏めを行った。
- ・ 那珂川浄水場における維持管理委託業務の設計積算・監督業務等を行った。
- ・ 石岡市において、市協力の下、漏水検知センサーの実証実験を㈱日立製作所と共同で行った。

【水道工事監督補助業務】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、県企業局管路更新（耐震化）事業における監督補助業務及び関係機関調整支援を行った。

【水道普及促進・啓発事業】

- ・ 市町村等が主催するイベント「どうでしょうキャラバン2022鉾田会場」及び「建設フェスタ」に参加し、水質浄化実験、水質検査、漏水検知体験の他、水道パネル展示を実施し、水道事業啓発活動を行った。
- ・ 11月にオンライン方式による市町村水道事業担当者研修会を開催した。
- ・ 鹿島浄水場の高度浄水処理水を使用した水道水ボトルドウォーター2万本をイベント等に使用するため製造した。なお、水道水ボトルドウォーターは、「モンドセレクション金賞」を受賞し、「365日の水」のラベルは、「いばらきデザインセレクション2022」に選定された。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R4決算	R3決算	前年比
経常収益	1,331,398	1,318,059	13,339
経常費用	1,331,398	1,318,059	13,339
経常増減額 a	-	-	-
経常外収益	-	-	-
経常外費用	0	0	△ 0
経常外増減額 b	△ 0	△ 0	0
増減額計 a + b	△ 0	△ 0	0
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 0	△ 0	0
一般正味財産期末残高	94,193	94,193	△ 0
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	-
正味財産期末残高	124,193	124,193	△ 0

【収益事業】

1 宿泊施設事業

【宿泊施設事業の合計正味財産増減表】

・国民宿舎「鶴の岬」と、いこいの村瀬沼の数値を合算している。

(単位：人・千円)

	宿泊者数	収益計	費用計	増減額計	他会計振替	正味財産期末残高
R4決算	83,516	1,525,445	1,462,673	62,773	△ 25,007	545,495
R3実績	56,861	1,016,772	1,143,298	△ 126,526	-	508,110
増減	26,655	508,673	319,374	189,299	△ 25,007	37,385

(1) 国民宿舎「鶴の岬」事業

- ・営業日数358日（対前年比32日増）、宿泊人数56,699人（対前年比15,790人増）となり、宿泊定員利用率は77.8%（対前年比15.3ポイント増）となった。
- ・日帰り宴会・会議、昼食及び喫茶利用者の合計は、123,074人（対前年比74,444人増加）となった。
- ・「いば旅あんしん割（全国旅行支援）」を活用し、収益の向上を図った。（利用者数43,294名、期間中利用者の86%が利用、補助金額176,361千円）
- ・9月5日～9月9日の5日間休館し、7階客室の一部改修工事及び法定点検等を行った。また、2月6日、7日の2日間休館し、法定点検等を行った。
- ・宿泊利用率が、33年連続で日本一となった。（国民宿舎協会7月発表）
- ・公式SNSの配信を継続して行った。（Instagramフォロワー 約2,000名）
- ・地域の賑わいを創出するため季節ごとにワークショップや体験会を開催し、約800名を集客した。
- ・新しい生活様式を実践するため、サーモカメラによる入館時検温や、消毒液及びアクリルパーテーションの設置等を継続した。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R4決算	R3決算	前年比
営業日数 ※1	358	※ 326	32
宿泊定員利用率	77.8%	62.5%	15.3P
宿泊人数	56,699	40,909	15,790
その他利用者数 ※2	123,074	※2 48,630	74,444
経常収益	1,102,268	747,551	354,718
経常費用	1,026,074	816,237	209,837
経常増減額 a	76,195	△ 68,686	144,881
経常外収益	-	-	-
経常外費用 ※	0	※ 743	△ 743
経常外増減額 b	△ 0	△ 743	743
増減額計 a + b	76,195	△ 69,429	145,624
他会計振替	△ 25,007	-	△ 25,007
当期一般正味財産増減額	51,133	△ 69,484	120,617
一般正味財産期末残高 ※4	557,337	※4 506,204	51,133
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	557,337	506,204	51,133

※1 R4休館合計7日（法定点検等7日）、R3休館合計39日（臨時32日、法定点検等7日）。

※2 日帰り宴会、昼食、会議、喫茶利用者の合計。

※3 固定資産除却損。 ※4 法人住民税56千円差引き後。

(2) いこいの村廻沼事業

- ・営業日数301日（対前年比45日増）、宿泊人数26,817人（対前年比10,865人増）となり、宿泊定員利用率は65.5%（対前年比19.7ポイント増）となった。
- ・日帰り宴会・会議、昼食及びキャンプ場利用者の合計は、29,881人（対前年比12,621人増加）となった。
- ・「いば旅あんしん割（全国旅行支援）」を活用し、収益の向上を図った。（利用者数16,190名、期間中利用者の68%が利用、補助金額6,474千円）
- ・効率的な運営を図るため、利用者の少ない日に計59日間の計画休館日を設けた。
- ・9月5日～7日、2月8日、9日の計5日間休館し、法定点検等を行った。
- ・食事材料及び燃料費高騰に対応するため、5月より昼食メニューの価格改定（平均100円値上げ）を行った。
- ・令和3年から事業開始したキャンプ場「HINUMA BASE」において、アウトドア初心者やファミリー向けに手ぶら利用や温泉入浴付きなどの手軽なキャンプスタイルを提案し、延べ人数1,050人の利用があった。
- ・公式SNSの配信を継続して行った。（Instagramフォロワー 約 1,300名）
- ・地域の賑わいを創出するため「ターゲット・バードゴルフ大会」等への協賛を行い、約440名を集客した。また、地域イベントへの出店を積極的に行った。
- ・新しい生活様式を実践するため、サーモカメラによる入館時検温や、消毒液及びアクリルパーテーションの設置等を継続した。

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R4決算	R3決算	前年比
営業日数	※1 301	※1 256	45
宿泊定員利用率	65.5%	45.8%	19.7P
宿泊人数	26,817	15,952	10,865
その他利用者数	※2 29,881	※2 17,260	12,621
経常収益	423,177	269,221	153,955
経常費用	436,119	325,446	110,673
経常増減額 a	△ 12,942	△ 56,225	43,283
経常外収益	-	-	-
経常外費用	※3 480	※3 872	△ 392
経常外増減額 b	△ 480	△ 872	392
増減額計 a + b	△ 13,422	△ 57,097	43,675
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 13,478	△ 57,153	43,675
一般正味財産期末残高	※4 △ 12,477	※4 1,000	△ 13,478
指定正味財産期末残高	635	905	△ 270
正味財産期末残高	△ 11,842	1,906	△ 13,748

※1 R4休館合計64日（計画59日、法定点検等5日）、R3休館合計109日（臨時26日、計画78日、法定点検等5日）。

※2 日帰り宴会、昼食、会議、キャンプ場利用者の合計。

※3 固定資産除却損。 ※4 法人住民税56千円差引き後。

2 日帰り温泉施設事業(日立市鶴来の湯十王)

- ・営業日数256日（対前年比30日減）、利用者数96,605人（対前年比10,245人増）となった。
- ・日立市による大規模修繕工事（外壁タイル等及び男子浴室給湯給水配管改修工事）に伴い9月26日から11月30日の計66日間を休館とした。
- ・売り上げ増加を図るため、テイクアウト用弁当の販売及び、食堂のみの利用者に係る入館料免除及び65歳以上を対象とした平日シルバー割引を継続して行った。
- ・招待券を廃止し、新たに優待券（500円）を発行した。（入館券＋100円の食事割引券付き）
- ・日立市コミュニティセンター（23カ所）に営業活動を行い団体利用の促進に努めた。（8件・118名）
- ・公式SNSの配信を継続して行った。（Instagramフォロワー約 350名、Twitterフォロワー約 240名）
- ・新しい生活様式を実践するため、サーモカメラによる入館時検温や、消毒液及びアクリルパーテーションの設置等を継続した。

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R4決算	R3決算	前年比
営業日数 ※1	256	286	△ 30
利用者数	96,605	86,360	10,245
経常収益	207,904	197,589	10,314
経常費用	207,904	197,589	10,315
経常増減額 a	0	0	△ 0
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	-	-	-
増減額計 a + b	0	0	△ 0
他会計振替	△ 0	-	△ 0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 0
一般正味財産期末残高	12,880	12,880	0
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	12,880	12,880	0

※1 休館合計109日（臨時66日、定期43日）。

3 ビル管理事業

- ・テナント1件の退去及び2件の入居があり、入居率は93.2%となった。（対前年比0.6ポイント減、空室3室）
- ・会議室稼働率は、35.6%となった。（対前年比11.7ポイント増）
- ・入居希望者のニーズを鑑み、居室分割等に弾力的に対応した。
- ・空室対策として、ホームページのテナント募集ページを見直した。
- ・広告料増収を図るため、オフィス棟1階エントランスにデジタルサイネージを設置した。（広告10件）
- ・電気料・保守費用軽減のため、7階開発公社執務室、各会議室及び駐車場外灯の一部照明をLED化した。
- ・安全性の向上を図るため、消防防災設備を更新した。
- ・新しい生活様式を実践するため、サーモカメラによる入館時検温や、消毒液及びアクリルパーテーションの設置等を継続した。

【正味財産増減表】

（単位：千円）

	R4決算	R3決算	前年比
公社ビル入居率	※1 93.2%	※1 93.8%	△ 0.6P
会議室稼働率	※2 35.6%	※2 23.9%	11.7P
経常収益	408,034	375,229	32,805
経常費用	315,615	240,556	75,059
経常増減額 a	92,420	134,673	△ 42,253
経常外収益	-	-	-
経常外費用	※3 2,727	※3 147	2,580
経常外増減額 b	△ 2,727	△ 147	△ 2,580
増減額計 a + b	89,693	134,526	△ 44,833
他会計振替	△ 29,436	-	△ 29,436
当期一般正味財産増減額	60,186	134,455	△ 74,270
一般正味財産期末残高	※4 3,851,836	※4 3,791,650	60,186
指定正味財産期末残高	38	51	△ 13
正味財産期末残高	3,851,874	3,791,701	60,173

※1 公社ビル入居率は面積ベースで年度末数値（全43室中、40室入居中）。

※2 会議室の稼働率は、午前・午後・夜間で算出。

※3 固定資産除却損。

※4 法人住民税71千円差引き後。

4 立地促進事業

【工事等実績】

- ・「つくば明野北部工業団地拡張③（田宿地区拡張）」において、令和5年10月の引き渡しに向け土地造成及び調整池工事を実施した。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R4決算	R3決算	前年比
団地処分面積	-	23.0	△ 23.0
経常収益	3	5,279,024	△ 5,279,021
経常費用	35,566	4,442,692	△ 4,407,125
経常増減額 a	△ 35,563	836,332	△ 871,896
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	-	-	-
増減額計 a + b	△ 35,563	836,332	△ 871,896
他会計振替	-	△ 564,742	564,742
当期一般正味財産増減額	△ 35,563	271,590	△ 307,153
一般正味財産期末残高	105,736	141,299	△ 35,563
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	105,736	141,299	△ 35,563

【収益・立地促進事業簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和4年度 増減額 (減損・造成等)	令和4年度 簿価減少分 (原価)	令和4年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和4年度末 簿価残高
つくば明野北部 拡張③	45,909㎡ 426,539千円	24,231㎡ 639,732千円	- -	- -	- -	70,140㎡ 1,066,271千円
合計	45,909㎡ 426,539千円	24,231㎡ 639,732千円	- -	- -	- -	70,140㎡ 1,066,271千円

【法人会計】

- ・管理業務に関する収益・費用や、その他の法人全般に係る、公益目的事業・収益事業に区分できないものを表示する。
- ・外部委員を招へいし、公社事業のあり方検討会を3回実施した。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R4決算	R3決算	前年比
経常収益	1,975	2,035	△ 59
経常費用	43,328	39,292	4,036
経常増減額 a	△ 41,353	△ 37,257	△ 4,096
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	-	-	-
増減額計 a + b	△ 41,353	△ 37,257	△ 4,096
他会計振替	-	150,000	△ 150,000
当期一般正味財産増減額	△ 41,353	112,743	△ 154,096
一般正味財産期末残高	△ 187,660	△ 146,307	△ 41,353
指定正味財産期末残高 ※1	2,322	3,484	△ 1,161
正味財産期末残高	△ 185,338	△ 142,823	△ 42,514

※1 ソーラー街路灯設置補助金。

○その他の受託事業の実績

受託事業の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

委託者	受託事業名	事業	受託額	受託内容
稲敷市	稲敷工業団地地区内幹線道路整備工事	土地	19,560	団地地区内の幹線道路整備工事
茨城県	県単独事業	茨城空港駐車場管理	19,117	監視カメラ・放送設備による駐車場の誘導案内及び巡回警備等
		駐車場整理等	5,246	
		茨城空港公園トイレ管理	1,166	空港公園のトイレ管理
		公園事業地管理	14,013	空港公園の管理
	伊師浜国民休養地	園地	9,686	休養地内及び施設設備の維持管理
	水道工事監督補助	水道	43,721	水道工事監督補助業務
	水道啓発		4,471	企業局水道普及啓発業務
	浄水場運転管理		1,281,118	浄水場運転管理業務等
日立市	日立市鶴来の湯十王管理	温泉	207,904	温泉施設の管理運営
合計			1,606,000	

○資金の借入れ状況

借入金の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

区分	前年度繰越金	期中借入増減額	令和4年度末残高
土地開発事業 (市中金融機関借入金)	0	1,200,000	1,200,000
茨城空港旅客ターミナルビル事業 (長期・一年内返済茨城県無利子借入金合算)	2,009,378	△ 167,547	1,841,831
立地促進事業 (市中金融機関借入金)	400,000	△ 200,000	200,000
合計	2,409,378	832,453	3,241,831